

支倉常長フェロー報告書

提出日 2011 年 9 月 30 日



申請者	氏名	久田 修
	所属・職	呼吸器病態学 助教
出張期間	2011 年 9 月 24 日 ～ 9 月 29 日	
渡航先	アムステルダム (オランダ)	
渡航目的	学会参加 (欧州呼吸器学会)	
発表演題名あるいは 共同研究課題名	Anti-fibrotic effects of LXR agonists in human fetal lung fibroblasts	
得られた成果など	欧州呼吸器学会 (ERS) 年次総会は、欧州のみならず、世界中からの参加があり、呼吸器関連の国際学会としては、米国胸部疾患学会 (ATS) 総会をしのぐ規模を誇っている。申請者は、びまん性肺疾患を専門としているが、この領域においては、米国・欧州・日本の3極で見解を異にする事柄も多く、今回のような国際学会を通して、世界共通の理解を深める事が重要である。 今回の ERS では、「Anti-fibrotic effects of LXR agonists in human fetal lung fibroblasts」と題して、ポスター演題による発表を行った。肺疾患と代謝などの全身との関連は、現在注目されつつある所であるが、研究が進んでいない分野である。欧州でも興味をもって受け取られたが、まだ、研究が深まっていない事もあり、多くの意見、助言をいただく事ができた。今後、論文化するにあたり、貴重な情報を得る事ができ、意義のある学会参加となった。	